

整備メニュー(素案)

ハード対策

洪水対策

- ・排水機場ポンプの増設
- ・排水ポンプ車の派遣
- ・加茂川(寿後川合流点下流)の改修
- ・流入下水樋管への逆流防止弁の設置

流出抑制対策

- ・流域浸透貯留施設の整備
- ・助成制度による浸水軽減対策

ソフト対策

- ・開発指導の強化及び建築指導要綱の制定
- ・洪水ハザードマップの作成
- ・まるとまちごとハザードマップの作成
- ・監視カメラ、水位センサーの設置
- ・災害図上訓練の実施
- ・避難勧告、避難指示の基準見直し
- ・メール、ツイッターでの情報提供
- ・ぎふ河川情報(アラームメール)の提供
- ・洪水ハザードマップの作成支援
(洪水シミュレーション検討成果の提供)
- ・河川水位、Xバンドレーダ等の情報提供
- ・排水ポンプ車の実働訓練
- ・リエゾンの派遣

美濃加茂市、坂祝町が実施する対策

岐阜県が実施する対策

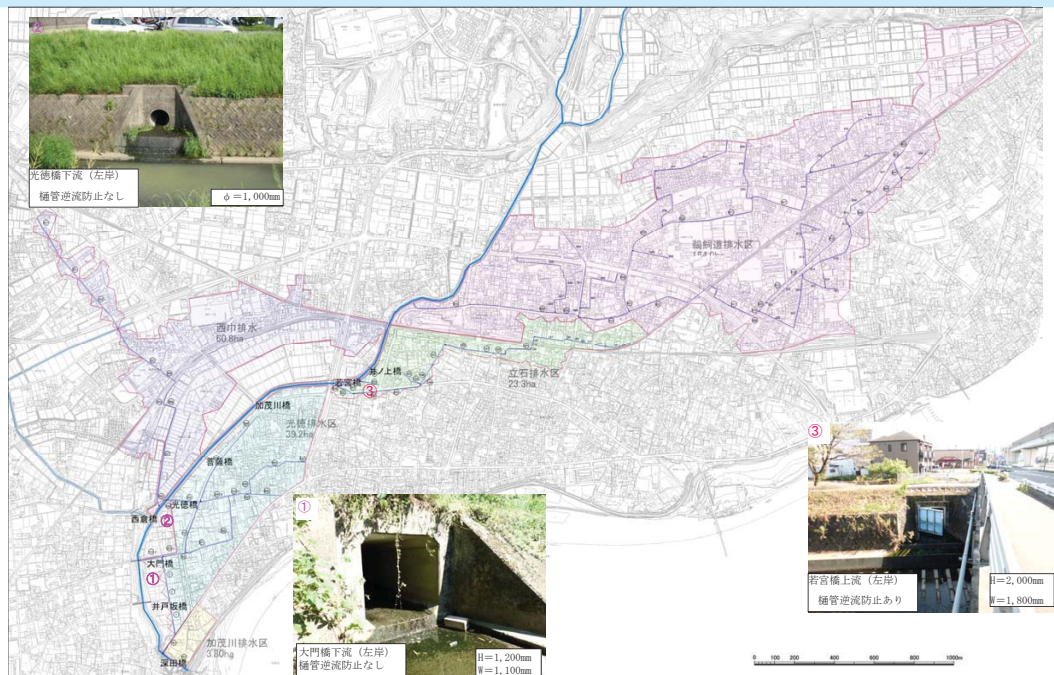
国が実施する対策

ハード対策(美濃加茂市) ～逆流防止ゲートの設置～

実施主体：美濃加茂市

逆流防止弁の設置

平成23年9月現在、若宮橋下の下水樋管については、逆流防止ゲートが設置されているが、大門橋下流と光徳橋下流の2箇所の樋管では設置されておらず、これらの対策を行う。

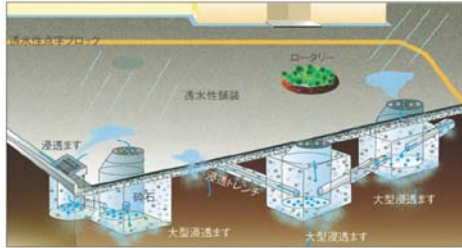


ハード対策(美濃加茂市・坂祝町) ～浸透貯留施設の整備～

実施主体：美濃加茂市・坂祝町

浸透貯留施設の整備

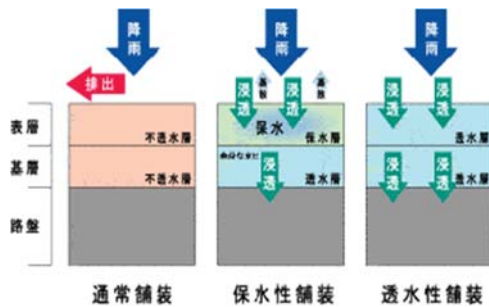
○加茂川流域に降った雨水を地中に浸透させ、河川等への流出を抑制するため、公的施設の駐車場、道路、グラウンド等に透水性舗装、保水性舗装、浸透ます、浸透トレンチ、校庭貯留の整備を行う。



浸透ますの整備イメージ

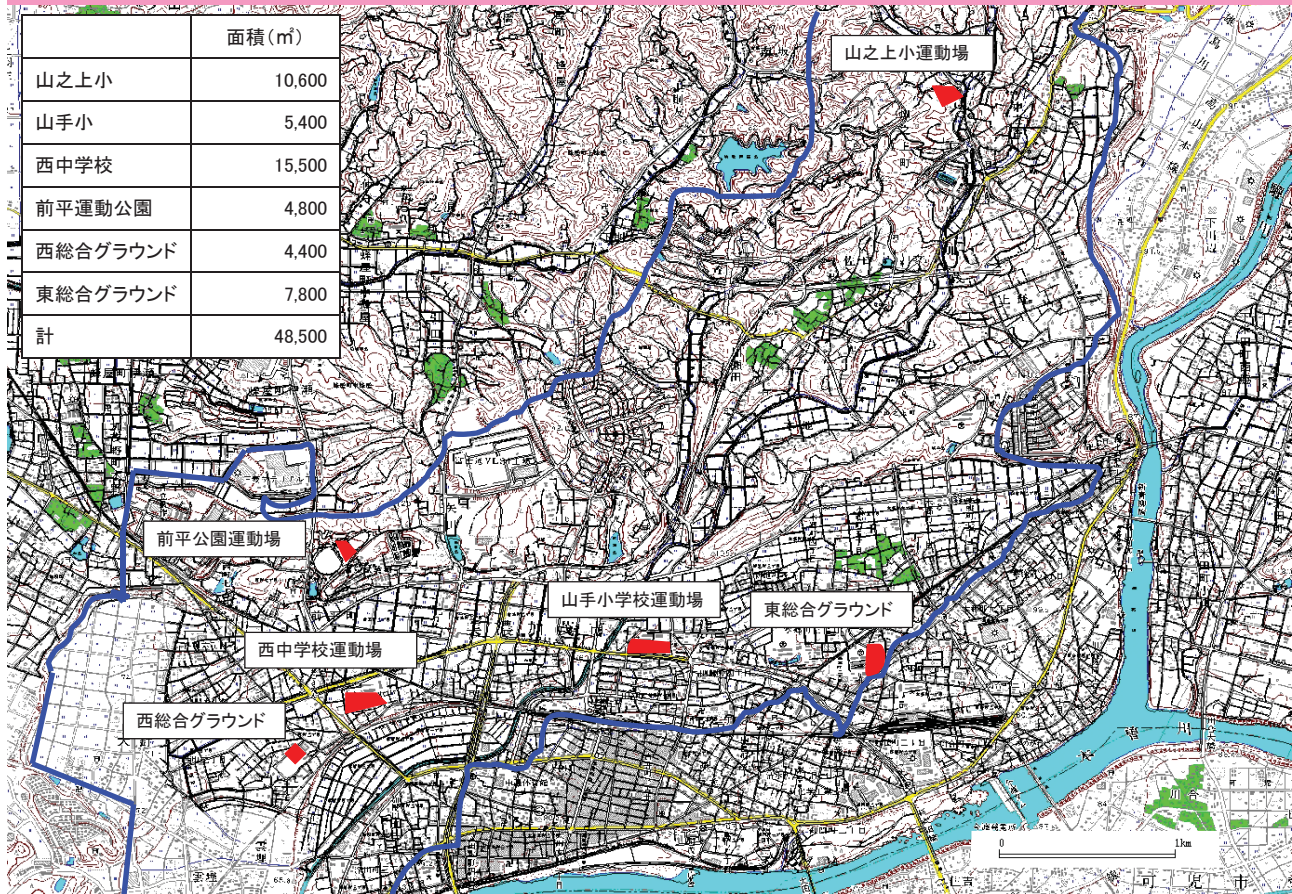


浸透トレンチの整備イメージ



校庭貯留の整備例

ハード対策(美濃加茂市) ～貯留浸透施設整備箇所～



ハード対策（美濃加茂市・坂祝町） ～助成制度による浸水軽減対策～

○浸水防止柵工事の助成

既存住宅の浸水被害の軽減を図るため浸水防止柵工事費用の一部を助成する。

○既存住宅のかさ上げ工事の助成

既存住宅の浸水被害の軽減を図るため嵩上げ工事費用の一部を助成する。

○雨水タンク、浸透マスの設置助成

住宅における雨水タンク設置費用や住宅の新築、リフォームの際に宅地内の雨水マスを浸透機能のあるものを新設または取替えるための費用助成。

千葉県我孫子市の例 浸水防止工事の助成制度（平成16年4月～）

制度の概要

大雨により住宅、店舗、事務所、駐車場等に浸水被害を受けた者が、浸水被害の軽減を図るために行う浸水防止工事について、浸水被害者の経済的負担の軽減を図るために助成金を交付。

○制度名：浸水防止工事の助成制度

○助成対象者：市が作成する浸水被害者台帳に記載されている方又はハードマップに示す対象範囲内にある住宅等に浸水被害を受けた住宅等の所有者又はその使用者

○助成対象となる工事

- (1) 住宅等の出入口又は敷地内に防水板その他浸水を防ぐ設備の設置工事
- (2) 敷地内への浸水を防ぐためのブロック壁の設置工事その他改修工事 等

○助成額：助成対象となる工事の合計経費の1/2の額（但し、上限30万円）

助成例

例1）止水板の設置

例2）駐車場等のかさ上げ

写真：我孫子市様提供

東京都中野区の例 高床工事助成事業（平成17年12月～）

制度の概要

平成17年9月の集中豪雨
 降量100mm以上の豪雨
 妙正寺川、善福寺川が氾濫
 浸水面積：119ha
 床上浸水：1,171棟
 床下浸水：2,175棟
 （新宿区・中野区・杉並区の合計）

住宅高床工事の費用の一部を助成する制度を開始
 （平成17年12月～）

制度の概要

○制度名：高床工事助成事業

○助成対象者：中野区が指定する地域内での住宅建築主

○助成対象となる工事

- (1) 高床の高さが敷地面から75cm以上で、床上浸水が防止できること
- (2) 床下部分が浸水に耐え、かつ通水の容易な構造であること

○助成額：高床部分の床面積に、工事費単価を乗じた額の1/2の額（上限200万円）

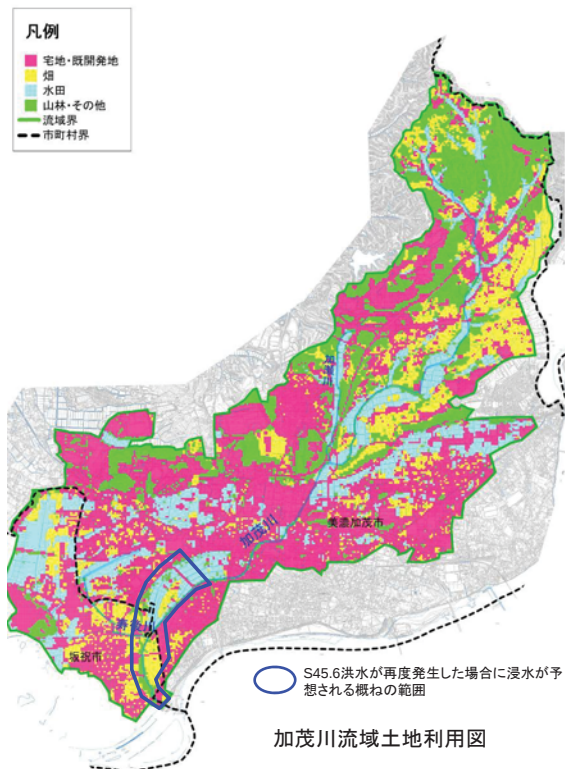
イメージ

通常建築
 （床の高さ30cm程度（約0.45m））

高床建築
 （床の高さ30cm程度（約0.75m））

東京都中野区より

ソフト対策（美濃加茂市・坂祝町） ～開発指導等～



○開発指導の強化

下記の指導を徹底し、洪水被害の軽減を図る。

・調整池の設置

3,000㎡を超える開発の調整池の設置指導を強化し、流出抑制に努める。

○開発指導要綱の追加

現在の開発指導要綱に下記の事項を追加し、洪水被害の軽減を図る。

・浸透貯留施設の設置

透水性舗装や浸透ますの設置指導を行い、雨水の河川への流出を抑制する。

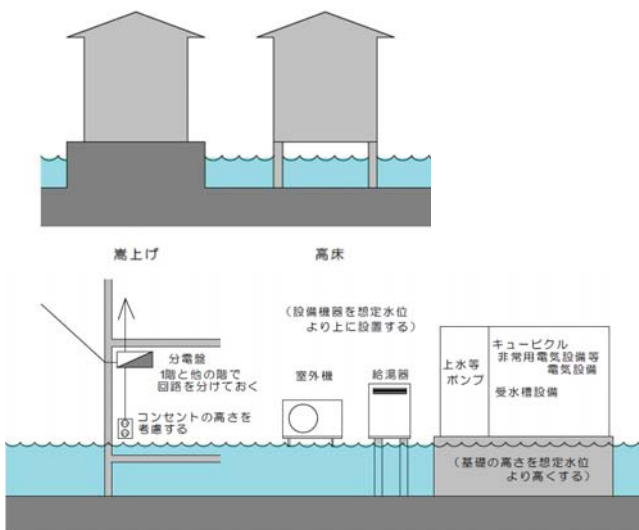
ソフト対策（美濃加茂市） ～建築物等の規制～

実施主体：美濃加茂市

〇浸水危険区域における建築物等建築指導要綱の制定

- ・浸水のおそれのある地域について過去の浸水履歴をお知らせし、建築物等の新設を抑制する。（注意喚起）
- ・浸水のおそれのある地域における建築計画については、事前届出制として建築高さ等の指導をおこなう。（建築指導）

イメージ図



東京都新宿区の例

浸水対策届出のご案内

新宿区地下室等の設置をする建築物への浸水対策の実施に関する指導要綱

新宿区洪水ハザードマップに表示された「浸水した場合に想定される水深が0.2メートル以上の区域」に地下室等を設置する場合は、届出が必要です

要綱の概要

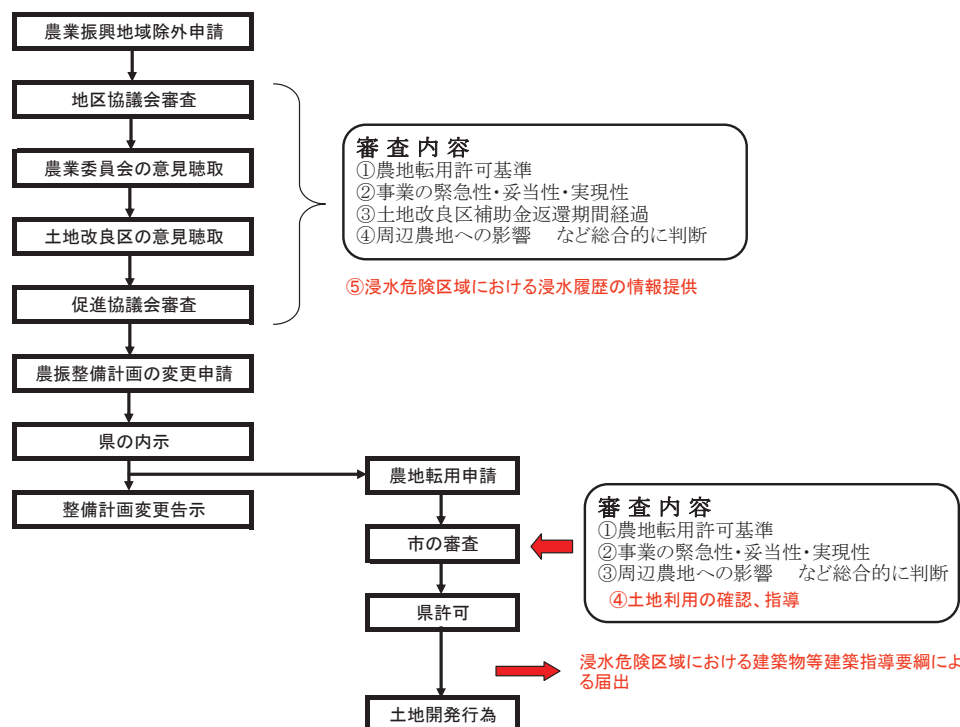
要綱の対象区域は区内全域です。
地下室等を有する建築物を建築しようとする場合に、建築主は浸水対策上必要な措置を講じる配慮をさせていただきます。また、新宿区洪水ハザードマップに表示された「浸水した場合に想定される水深が0.2メートル以上の区域」で、地下室等を有する建築物を建築しようとする場合には、建築主は浸水対策上必要な措置を講じ、区長に浸水対策に係る届出書を提出していただきます。



ソフト対策（美濃加茂市） ～建築物等の規制～

実施主体：美濃加茂市、坂祝町

農業振興地域における除外、農地転用の流れ



ソフト対策（美濃加茂市・坂祝町）

実施主体：美濃加茂市・坂祝町

洪水ハザードマップの作成、公表

○内水のはん濫等の浸水情報および避難に関する情報を住民にわかりやすく提供する内水ハザードマップを作成し、意識向上を図る。



内水ハザードマップの作成例
（徳島県吉野川市）

まるとまちごとハザードマップの作成、公表

○内水のはん濫等の浸水情報および避難に関する情報を住民にわかりやすく提供するため、現地に案内標識を設置する。



浸水水位の表示イメージ

加茂川監視カメラ、水位センサーの設置

○加茂川の監視カメラを改良および新設して、浸水状況や出水状況などの情報を迅速に提供する。

災害図上訓練の実施

○洪水氾濫が起こった場合どのように行動するか洪水ハザードマップなどを利用し、災害図上訓練を実施する。

警戒避難体制の強化

○警戒避難時の情報収集・伝達、指示系統、人員配置といった体制の強化を行い、人的被害の軽減を図る。
また、洪水ハザードマップの公表と合わせて、避難勧告、避難指示の基準を見直す。

迅速な情報提供

○インターネットを利用してホームページやメール、ツイッターでの迅速かつ多様な情報提供に努める。